

地域おこし協力隊の そっとなっチャ! 高千穂

子ども体験農園 シェア畑トラモンテン

地域おこし協力隊ユネスコエコパーク自然体験ガイドの甲斐有香です。

「たくさん子どもたちに高千穂町(ユネスコエコパーク)の自然を楽しんでもらう」というミッションのもと昨年秋から活動しています。

その一環として、高千穂の豊かな自然の中で子どもたちが農業体験を行える場を作りたいと考え、シェア畑トラモンテンという体験型農園企画を始めました。旧向山北小のそばで始めたので英語tramontane「山の向こう」、いろいろな「山の向こう」の地域に広がればと思い名づけました。

3月のジャガイモの植え付けから始まり、夏のジャガイモ収穫祭、サツマイモの植え付け、秋のサツマイモ収穫祭、と季節ごとに企画を行いました。

現在、利用者は未就学児と小学生のご家族を中心としていますが、対象は17歳以下の子どもとその家族です。高千穂町内外問わず高校生以下の子どもたちが楽しく農業を体験できる場となったらいいと思っています。

自分たちの好きな農作物を植えていいのですが、現時点では企画で用意している芋を植えたり収穫したり調理したりして、みんなで楽しんでいます。これから利用者の方たちといろいろな企画ができたらと思っています。

畑は使われていない農地を利用して、休耕地活用も一つの地域貢献になっているのではないかと思います。

なんといっても畑周辺の地域の方々の温かい声掛けや協力に感銘する日々です。冬は新たな休耕地の開拓とそこに生えている雑草の利用、春にはジャガイモ植え企画を行う予定です。ぜひご参加ください!



夏のジャガイモ収穫祭

旧向山北小学校の家庭科室にて、収穫したジャガイモを使ってトルネードポテトをつくりました。地域の方がボランティアで参加。参加した子どもたちもほくほくサクサクのポテトにみなさん満面の笑み



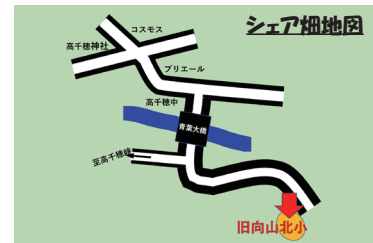
秋のサツマイモ収穫祭

夏から継続して畑を利用された家族や新しく参加される家族で、サツマイモの収穫。その場で、さつまいも釜めしとサツマイモみそ汁と焼き芋。芋尽くしの外ご飯を楽しみました♪北小内でシイタケを栽培されている方の協力で、急きょシイタケの収穫体験もしました♪



ジャガイモの植え付け

ここからシェア畑企画が始まりました。3月の植え付け企画は残念ながら雨のため中止になり、スタッフと地元農家のお手伝いのもと、ジャガイモを植え付けました。



【シェア畑ホームページ】



甲斐 有香
Kai Yuka

福岡生まれの熊本育ち。

令和4年8月コロナ流行をきっかけに夫の地元である高千穂へ移住。9月に総合政策課所属の地域おこし協力隊に着任。子どもを対象とした自然体験企画の開発を担当。

防火ポスターコンクール 最優秀賞受賞

11月1日、西臼杵広域行政事務組合消防本部(日高昭消防長の防火ポスターコンクールで、最優秀賞を受賞した原田龍和さん(5年)の表彰式が、高千穂小学校で行われました。

原田さんは「自信はあったけど、最優秀賞が取れるとは思っていなかったのうれしい。特に消火器には力を入れ、写真を見ながら丁寧に描いた。各家庭で消火器を置いて、火事に気を付けてほしい」と話しました。



明るい町づくり事業 優秀作品表彰

11月19日、町商工会青年部(田尻哲朗部長)の「明るい町づくり事業」優秀作品の表彰式が行われました。

今回で14回目を迎えるこの事業は、地域活性化を目的に、毎年町内の小学6年生を対象に作品を募集。「高千穂の魅力・好きなところ」をテーマに89作品の応募があり、その中から選ばれた12作品が表彰されました。



第50回タリディリー 明るい社会賞受賞

「第50回タリディリー明るい社会賞」を受賞した甲斐英明さん(五ヶ所)が、報告に町長室を訪れました。

変わり果てていく五ヶ所高原の風景を戻そうと、自然公園指導員や自然保護推進員などを歴任。2013年に地元有志らでつくる「五ヶ所高原ゴマ姫の草原を守る会」を発足し、「ゴマシジミ(チョウ)やヒメユリなどの希少野生動物を有害獣の被害や盗掘から防ぐ活動を長年続けてきたことで受賞しました。



特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動がこしま大会報告

10月に鹿児島県で開催された「特別全国障害者スポーツ大会」に出場した工藤美樹雄さん(岩戸)と延岡しるやま支援学校高千穂校飯干愛絵さん(上野)が、体会結果の報告に町長室を訪れました。

工藤さんは、卓球競技少年男子に出場し銀メダルを獲得。飯干さんは、陸上競技少年女子400mと同じく800mに出場し、見事2種目とも優勝。金メダル2つを獲得し2冠達成の素晴らしい成績を収めました。

